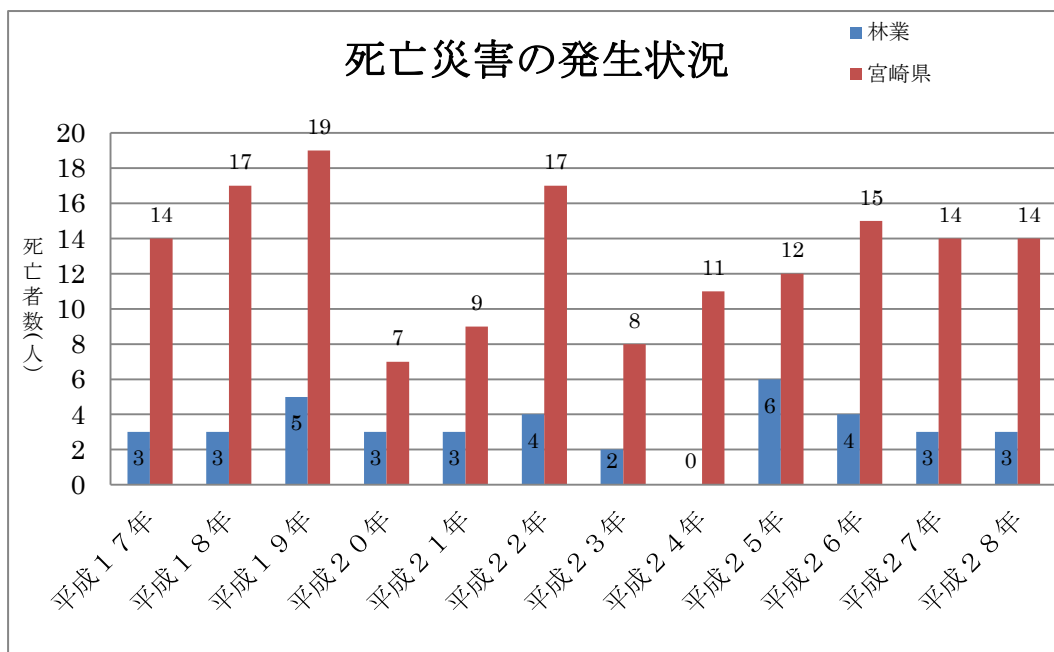


● 林業における死亡災害の発生状況

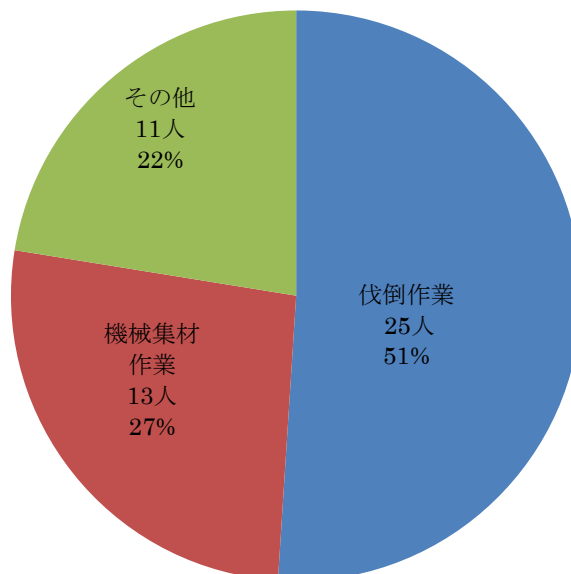
宮崎県内の死亡災害の発生状況を見ると平成28年の死亡者数は14人（前年同数）で、林業は3人（前年同数）となっている。



宮崎県内の林業における平成13年から平成28年の発生状況を見ると、この間の死亡者数は、49人となっている。

作業別林業死亡災害発生状況
作業別 (H13~H28)
49人

作業別で見ると、伐倒作業時が、最も多く51%、半数となっており、機械による集材作業（機械集材装置又は走行集材機械による作業）が27%となっている。

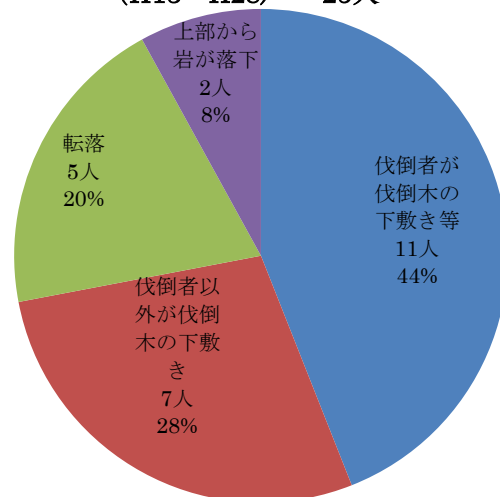


伐倒作業時の災害をみると、作業者が伐倒木の下敷き等になった災害が72%を占めている。

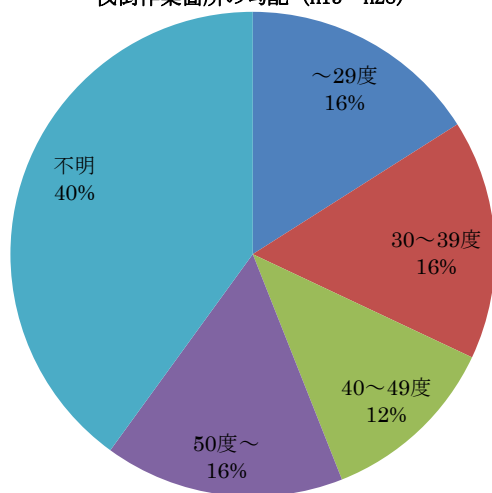
その内訳は、伐倒者が被災した災害が44%、伐倒者以外が被災した災害が28%となっている。

また、かかり木による災害が20%（5人）となっている。

林業死亡災害の発生状況
伐倒作業に係る災害の分類
(H13～H28) 25人

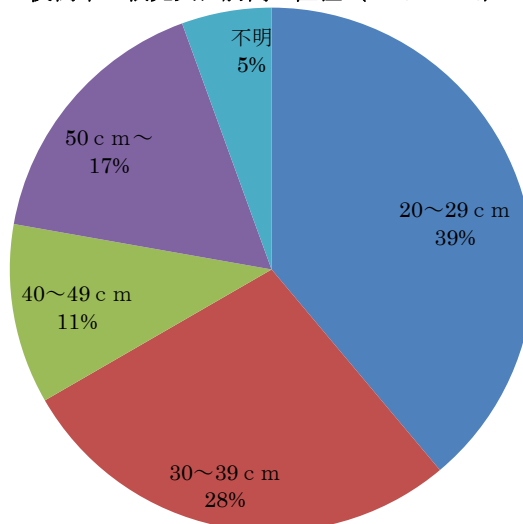


林業死亡災害の発生状況
伐倒作業箇所の勾配 (H13～H28)



伐倒作業を行っていた箇所の勾配は、30度以上が約半数である。

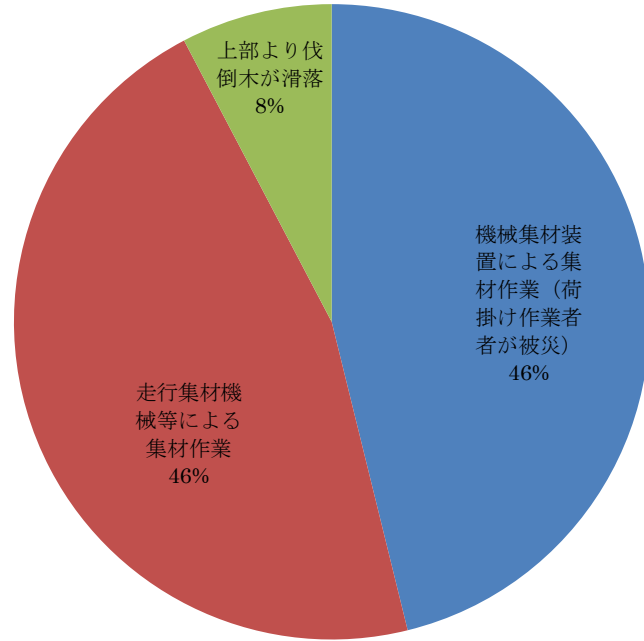
伐倒作業において
作業者が伐倒木の下敷き等になった災害
伐倒木の根元又は胸高の直径 (H13～H28)



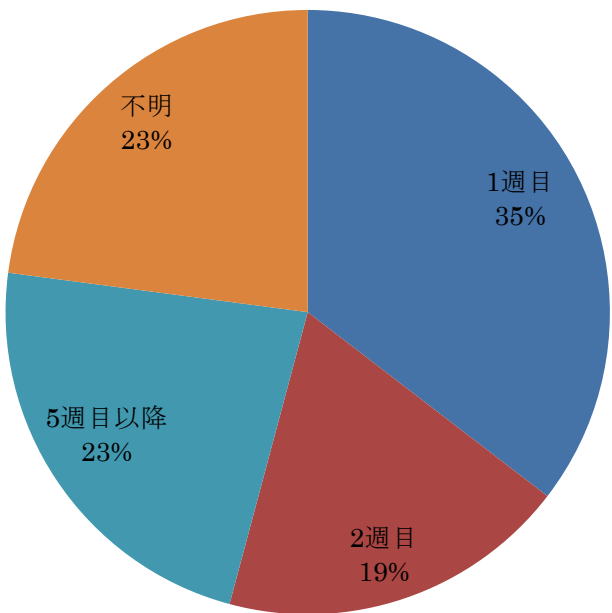
伐倒作業において、作業者が伐倒木の下敷き等になった災害（18名）について、伐倒木の根元又は胸高の直径は、30 cm未満が39%で、約7割が40 cm未満である。

林業死亡災害の発生状況
機械による集材作業に係る災害の分類
(H13～H28) 13人

機械による集材作業
(機械集材装置又は走行集材機械による作業)による災害を見ると、荷掛け作業中に荷掛け作業者が被災した災害が46%、走行集材機械等の転落・横転災害が46%であった。

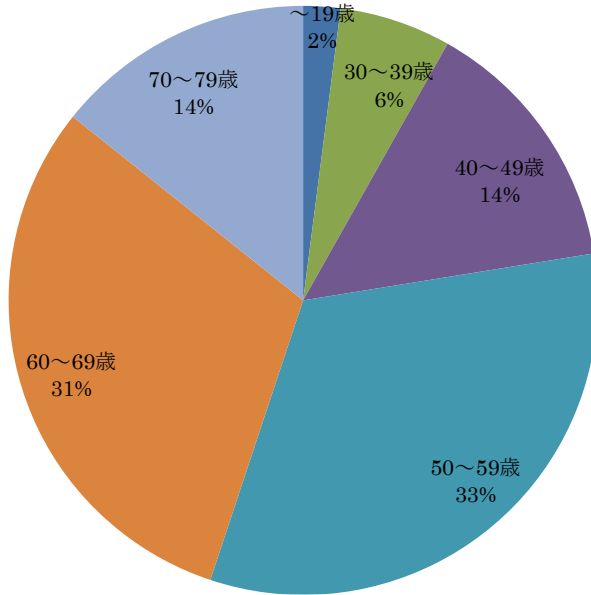


林業労働災害発生状況
現場就労日数別
(H13～H28)



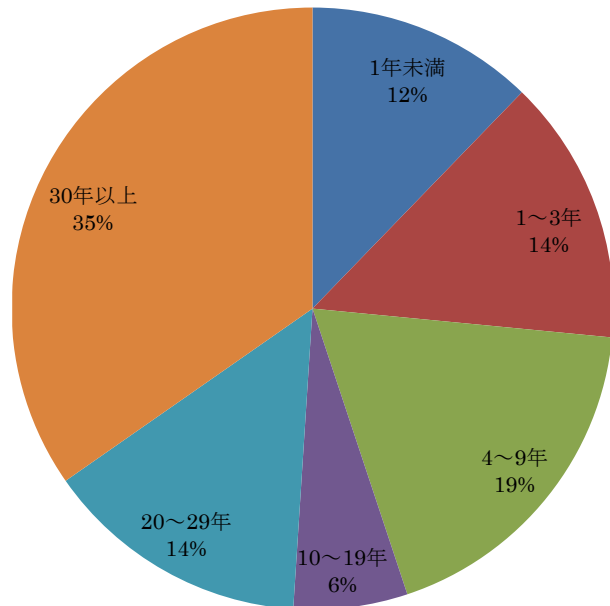
災害発生までの現場就労日数をみると、1週間以内が35%、2週間目を含めると半数を超える状況となっている。

林業死亡災害発生状況
年齢別 (H13~H28)



年齢別で見ると、50歳代が33%、60歳代が31%となっている。

林業死亡災害発生状況
経験年数別 (H13~H28)



経験期間で見ると、30年以上が35%で最も多くなっている。